

神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

## 神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

## 市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

## 無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の  
組み替えで、これだけ出来ます!

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

### 日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

#### 主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減  
222  
億円  
(一般会計分)

#### 主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額  
200  
億円

# みなさんと 力をあわせ声を届け 実現!

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

## こどもの 医療費 助成

## 高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

## 大学誘致ではなく

## 王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい  
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質問する  
松本のり子議員

## 中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にいる旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する  
西ただす議員



# 原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

## 原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかつてない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

**保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状况に見合った支援をすべきと強く求めました。**

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

## 温暖化ストップに 真剣に取り組む神戸へ



2月27日 予算特別委員会・環境局審査で質疑する西ただす議員

西議員は神戸市地球温暖化防止実行計画・改定案の問題点について質問。この改定は、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を実現するための計画ですが、CO<sub>2</sub>をどのように減らすかの具体性がありません。西議員は2030年に神戸市がCO<sub>2</sub>の6割削減を目標にしながら「より斬新なアイデア」が出てくることに期待するだけで今のやるべきことを放棄している点を指摘。神戸市や全国で災害が頻発し、海面上昇で沈みゆく国がある中で許されない、と追及しました。また、**神鋼石炭火力発電所一社で150万市民全体よりも多くのCO<sub>2</sub>を排出し**、さらにPM2.5など大気汚染物質や水銀まで垂れ流し地域の環境悪化を招いている事実には神戸市は向き合い、停止させるべきだと求めました。



## 子ども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、子ども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、子ども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋市に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

子どもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員

## 根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。



▲日本共産党議員団作成のピラ

## 地域の切り捨て計画 許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(素案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

## 統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

## 議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回 紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決



神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

## 神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

## 市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

## 無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の  
組み替えで、これだけ出来ます！

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

### 日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

#### 主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減  
222  
億円  
(一般会計分)

#### 主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額  
200  
億円

# みなさんと 力をあわせ声を届け 実現!

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

## こどもの 医療費 助成

## 高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

## 大学誘致ではなく

## 王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい  
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質問する松本のり子議員

## 中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にいる旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する西ただす議員



# 原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

## 原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかつてない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

**保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状況に見合った支援をすべきと強く求めました。**

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

## 灘区の学童保育の改善を！

予算特別委員会・  
こども家庭局審査  
2月28日



味口としゆき議員は、灘区の学童保育の改善をもとめて質疑しました。

4月に小1になる保護者の方から「小学校内の学童保育がいつばいで、校区外に通わなければならない」と相談があり、この声をまっすぐ届け、改善をもとめました。

味口としゆき議員の調査で、校区外の学童保育利用は、かなり深刻であることが判明。

**灘区の学童の過密状況の改善へ、がんばります！**

令和4年12月10日時点 校区外からこんなに利用が！

所在校区	施設	利用校区	利用申込者数	校区外利用
福住	上野児童館	摩耶・福住	107	59
福住	原田児童館	福住・稗田	80	7
美野丘	篠原児童館	美野丘	121	
高羽	高羽児童館	高羽	193	
六甲	八幡児童館	高羽	75	74
西郷	灘児童館	西郷	93	
六甲	都児童館六甲コーナー	六甲	91	1
成徳	六甲道児童館成徳コーナー 六甲道コーナー	成徳、灘西郷など	219	8
灘	河原児童館	稗田・灘	52	25
灘	灘コーナー	灘	93	
鶴甲	鶴甲コーナー	鶴甲	116	
西郷	西郷コーナー	西郷	48	
西灘	西灘コーナー 西灘コーナー分室	西灘	107	
稗田	稗田コーナー 稗田コーナー分室	稗田	159	
灘の浜	灘の浜コーナー 岩屋コーナー	灘の浜	159	
摩耶	摩耶美野丘コーナー	摩耶・美野丘	22	7



## こども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、こども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、こども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋市に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

こどもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員



▲日本共産党議員団作成のピラ

## 地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

## 統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

## 議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回 紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決

## 根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。



神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

## 神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

## 市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

## 無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の  
組み替えで、これだけ出来ます!

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

### 日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

#### 主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減

222  
億円

(一般会計分)

#### 主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額

200  
億円

# みなさんと 力をあわせ声を届け **実現!**

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

## こどもの 医療費 助成

## 高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

## 大学誘致ではなく

## 王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい  
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・  
教育委員会審査で質問する  
松本のり子議員

## 中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にいる旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する  
西ただす議員



# 原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

## 原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかつてない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

**保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状況に見合った支援をすべきと強く求めました。**

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

## 済生会 兵庫県 病院の

## 統合・移転はやめよ



2月24日 健康局審査で質疑する朝倉えつ子議員

コロナ禍に、病床を100床以上も削減する済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合計画は、本当に道理がありません。

急性期ベッドは、北区全体でも1,000床にも満たない状況です。三田と一緒にすれば、地域は広がるのに、病床は逆に減ります。遠く移転すれば、救急搬送にも困難が生じます。市は「高度な医療が提供できる」などと言っても、入院出来なければその医療さえ受けられません。

朝倉議員は、「病床減らしても仕方ないという立場に立つのか」と厳しく追及。**「統合する新病院の土地代などを負担する財源があるなら、済生会病院を今の場所で存続させ、充実できるように、市はあらゆる支援を尽くせ」と求めました。**



## 子ども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、子ども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、子ども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋市に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

子どもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員

## 根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。



▲日本共産党議員団作成のピラ

## 地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

## 統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

## 議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回 紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決



神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

## 神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

## 市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

## 無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の  
組み替えで、これだけ出来ます!

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

### 日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

#### 主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減

222  
億円

(一般会計分)

#### 主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額

200  
億円

# みなさんと 力をあわせ声を届け **実現!**

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

## こどもの 医療費 助成

## 高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

## 大学誘致ではなく

## 王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい  
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質問する  
松本のり子議員

## 中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にいる旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する  
西ただす議員



# 原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

## 原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかかってない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

**保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状況に見合った支援をすべきと強く求めました。**

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

## 烏原貯水池

## トイレの洋式化実現



2月21日 水道局で質疑する大かわら鈴子議員

烏原貯水池は、樹木や水鳥の観察、ハイキングなど高齢者から子どもまで親しまれています。周辺には「水と森の回遊路」が整備され、3つの広場・休憩所と2か所のトイレが設置されていますが、バリアフリー化が進んでおらず、「トイレを洋式にしてほしい」との声が上がっています。また以前は樹木等に設置されていたネームプレートが朽ちています。小学生が課外授業で訪れる機会もあり、再設置の要望がでています。大かわら議員は、地域の声を紹介し、実現を求めました。坂戸担当部長は、**トイレの洋式化について来年度以降洋式化を行うと答弁**。また、プレートは設置場所、設置方法を建設局と相談し検討すると答弁しました。



## 子ども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、子ども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、子ども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋市に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

子どもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員

## 根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。



▲日本共産党議員団作成のピラ

## 地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(素案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

## 統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

## 議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決



神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

## 神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

## 市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

## 無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の  
組み替えで、これだけ出来ます!

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

### 日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

#### 主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減  
222  
億円  
(一般会計分)

#### 主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額  
200  
億円

# みなさんと 力をあわせ声を届け **実現!**

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

## こどもの 医療費 助成

## 高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

## 大学誘致ではなく

## 王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「**大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ**」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい  
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質問する  
松本のり子議員

## 中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にいる旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する  
西ただす議員



# 原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

## 原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかつてない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

**保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状況に見合った支援をすべきと強く求めました。**

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

## 公契約条例で官製ワーキングプアなくせ



2月21日 予算特別委員会・行財政局審査で質疑する森本真議員

久元市長が総務省時代に創設した「指定管理者制度」が全国で問題になっています。NHKで特集され、「ある政令市の児童館館長が年収250万円以下」と報道されました。「神戸でもこのような状況があるのでは？調査をおこなうべきだ」と質しましたが、法令は遵守していると拒否。

長田区のふたば学舎では、「人件費を削れ」と管理料が1,150万円も削減されました。

職員の大幅な削減と区役所の窓口業務の民間委託の拡大が計画されています。

**「賃上げが必要。最低賃金では生活できない。官製ワーキングプアをなくし、公契約条例制定を」と訴えました。**



## 子ども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、子ども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、子ども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

子どもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員

## 根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。



▲日本共産党議員団作成のピラ

## 地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

## 統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

## 議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回 紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決